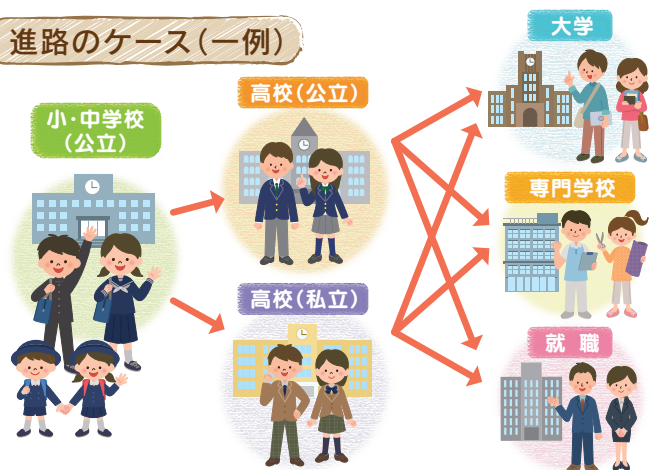


11月に開催するくらしの見直し講演会で講師にお迎えする須原光生先生に子どもの教育費について教えていただきました。

進路のケース(一例)



**間違いなく
教育費はかかる**

教育費は、子どもの人数やそれぞれの進路によっても大きく変わっていきます。

**お金がかかる！
「教育費」早めの準備大作戦**

「教育費を準備するのはいつ頃から？」こんな質問があります。知識と強い意思を持ち、少しでも「早い時期」から行うことが正道です。可愛いエンジェルのために、思い立ったが吉日、コツコツと気長に「時間の財産」を使って今すぐ始めましょう。

また、自宅からの通学、寮や下宿生活、専門学校、国公立か私立か、学科も文系・理系によつての授業料、子どもの男女差や年齢差などでも大きく変わっていきます。

負担増の時期はそれぞれケースなどによつて違いますが、時期が来れば間違いなく教育費はかかります。たとえば、高校まで公立、卒業後大学進学の場合は、当然負担増は大学の期間と考えられます。早めはその時期を予想し、全額準備ができません、少しでも多めに準備をしていけば、子どもが負う奨学金などの借金も少なくて済みます。また、兄弟姉妹間の不公平を防ぐことにもつながります。これまで教育費の準備を怠ってきたという人も、気づいた時点で始めることです。

**「準備する・継続する!!」
強い意思が子どもを救う**

教育費の準備は、生まれたらすぐに、途中からでもすぐに、どんな金融商品でも、少しでも長い時間をかけて、「コツコツ」と積み立てる」ことが最良方法です。つまり「継続は力なり」の強い精神で続けることです。

子どもが生まれてすぐの時は積み立てていても、幼稚園や小学校では習い事や塾などで家計が厳しくなり、継続が難しく途中で止めてしまっている人がいます。児童手当をもらっている人はせめてその手当をあてましょう。

住宅取得や繰り上げ返済資金、車購入などの際にも、教育資金を流用せず、キープする家計管理も大事なポイントです。「止めない」「使い込まない」が重要です。また、場合によっては祖父の理解を得て教育費の贈与(※)や貸借も考えられます。(※2013年4月から孫の教育資金を1500万円まで非課税で贈与できる新制度が開始。(2015年末までの時限措置))

子どもの未来を左右する「教育」という財産を残すためにも、頑張つて準備をしていきましょう。

PROFILE



金融・投資
教育コンサルタント
ファイナンシャルプランナー
須原 光生氏

元日本証券業協会 証券教育広報センター関西支部長で48歳の時に独立。25年間の投資教育の経験を生かし、現在は貯蓄・投資・家計管理・子ども向け金銭教育等々に関する講演や研修会の講師やTV・ラジオも出演。身近な視点でヒント満載の講演内容は「おもしろく、楽しく・元気が出るセミナー!!」と大好評。

LPAの会 くらしの見直し講演会

**エンジェルはお金がかかる！
～子ども・孫の教育費等、早めの準備大作戦～**

子どもへの金銭教育や教育費の準備について、経験をもとにお話いたします。孫も含め、未来ある子どものためにしっかりと、がつちり備えていきましょう。

時 11/29(土) 13:30~15:30 (開場13:00) 所 福井県生活学習館 ユー・アイふくい 3F映像ホール(福井市下六条14-1)

- 須原 光生氏
- 無料 (定) 130人(先着順)
- 15ページコールセンターまで

10日前までに要予約
お子さまお1人につき300円
小学生未満まで ※先着順



LPA(ライフプランアドバイザー)の会